

環境に優しい「のこり染」で自然のぬくもりを伝える

艶金化学繊維株式会社

艶金化学繊維株式会社

所在地： 岐阜県大垣市十六町字高畑 1 0 5 0

代表者： 代表取締役社長 墨 勇志

職員数： 122名（平成28年1月時点）

URL： <http://www.tsuyakin.co.jp/kurakin.html>

※本プロジェクト対象の「クラキン事業部」URL掲載

1 事業の概要

当社のクラキン事業部が提供する「KURAKIN」は、「のこり染」を採用した暮らしの布具ブランドです。「のこり染」は、私たちが口にする食品の使わない部分、その「のこり」を使い染色しています。生活の中で永く大切に使うように、シンプルな形状を意識しており、天然色素のやさしく暖かい色合いが特徴です。食品が生み出す自然の恵みの色を大切に使用したいという想いのもと、「のこり染」や縫製を自ら行い、メイドインジャパンにこだわっています。

2 環境への取り組み

主に製造工程における環境負荷低減に取り組んでいます。製造設備の改良により、使用水量・蒸気使用量・電気消費量が従来型の染色・精練機と比較して平均35%削減できるようになりました。

また、30年前から化石燃料（重油）ではなくバイオマス燃料を使用し、CO₂の排出削減に貢献しています。2007年には電力使用量の削減の為に主要機械に省電力設備を導入し電力使用量の平準化にも取り組んでいます。

3 J-クレジット活用手法

「KURAKIN」ブランドののこり染商品のうち、タオル・バッグ・スリッパなど10品種について、中部産CO₂クレジットを利用したカーボン・オフセットに取り組みました。商品毎に約10kgに相当するCO₂のオフセットに協力したことを示すタグをつけ、環境に優しい商品として訴求しました。

4 取組の感想

ソフト支援機関による商品のPR方法および商品に添付するタグの考案・導入支援があり、スムーズに準備を進めることができました。カーボン・オフセットはコストアップに繋がるイメージが強かったのですが、それ以上に商品の訴求ツールとして活用できることを実感しました。

5 制度活用による効果

「KURAKIN」が提供する「のこり染」商品は食品廃棄物を活用した染物であり、今回のカーボン・オフセットの取り組みを通じて、環境面での商品PRを一層強化することができたと感じています。今後は、商品を購入頂くお客様に、環境に貢献していることだけでなく、クラキン事業部が大切にしている想いや考えを広く伝えていき、新たな商品開発にもつなげていきたいと考えています。

6 活用イメージ

以下の商品に中部産CO₂クレジットロゴが入ったタグが添付されます。



J-クレジット活用量 10tCO₂ (10品種)